

ジョハリの窓

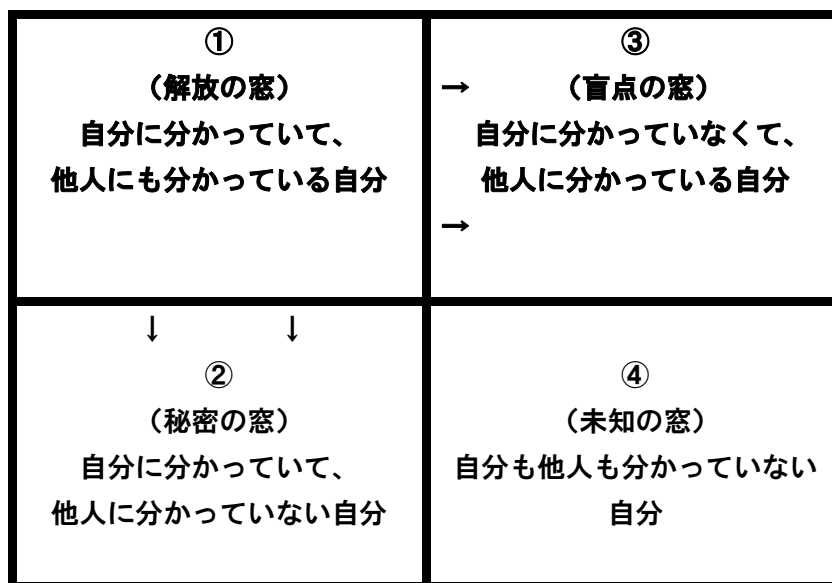
使用者委員 岩元義弘

労働委員会で「職場での人間関係のトラブル」の相談を受ける経験をしてきました。相談者は労働者の場合も使用者の場合もあります。相談の申し込みを受け、相談者と接します。相談者の言動を観察し、トラブルの内容を聞きます。そして、トラブルの原因は何か判断しようとしています。

面談して、トラブルの原因が根本的な考え方の違いによると思われる場合もありますが、相談者が自分のことが分かっていないことから起きていると思われるケースがあります。でも相談者はそのことに気がつかず、相手方に原因があると訴えます。

もちろん、労働委員会への相談者だけが自分のことを分かっていないわけではありません。すべての人は自分のことを正しく客観的に理解していないでしょう。自ら適性検査や性格検査などを受け、自分のことをより深く理解しようと努力されている方もいるかもしれませんが、それでもすべてを理解することはできないでしょう。

二人の心理学者が人間の心に四つの窓があると想定すると分かりやすいと発表しました。「ジョハリの窓」と名付けられています。



皆さんにジョハリの窓をお知らせしようと思ったのは、人間関係のトラブルの原因に、「盲点の窓」と「秘密の窓」の存在があるからだと思っているからです。自分自身が思っている自分と他人が思っている自分は異なっている。この認識の違いがトラブルの原因になっているのです。

解放の窓が広ければ広いほど、良好な人間関係を築けると言われています。解放の窓を広げる為には、まず自分の盲点の窓、秘密の窓に気づくことが大事です。人間関係のトラブルを未然に防ぎ、良好な人間関係を築いていきたいですね。